

市民のひろば



おんちわ

「旧庁舎の時に食堂で働いていましたか…」恒石墨江さん、64歳。毎日、水道局と新庁舎の1階から5階まで、掃除してくれている人たちの1人です。夜は、職員が帰ったあと7時頃まで。ひと口に掃除といってもこれはなかなかつかれるもの。ましてや年をとってくると。床をはき、みがき、洗い、ポリッシャーをかける。若い人であっても、1日中これをやればかなり疲れる。「時には、掃除の不ゆきとどきを指摘されることもあります」と笑いながらいふものの、陰の心労も多いようです。息子さん2人は独立して、来年からは年金ももらえるとのこと。「年をとるとまた心配もふえます。働ける間は働かんと…」ふたたび仕事にむかいました。



親子のひろば

「ご家庭で話し合って答えてください。答えは今月号の広報に」。

■もんだい

■稲吉部落 ―世帯数四百三十三戸、十年前の百十三戸に比べると実に〇倍になり、住宅がみっちり建ち込んでいます。

■しめきり・三月十五日(金)

■おくり先・千七百八三南園市大浦、南園市役所内広報委員会、親子クイズ係

■答えのハガキには必ずお歳、職業を書いてください。

■広報や行政に対するご意見、マ

ンガや詩などどうぞ。

■しょうひん・特賞二千円―一人、残金賞(記念品)―十人

■第二十九回の正解者発表

■こたえ・①一月〇日、②④月、③二月⑤⑥日でした。

■特賞・二千円、豊永豊(東崎)

■残金賞・国沢亀子(立田)・門田幸俊(植田)・田中和子(稲生)・北村菊江(稲生)・島崎まりこ(浜改田)・沢村みわ(久礼田)・小串百合美(稲生)・藤岡香代(大浦)・大石智範(大浦)・山崎孝浩(東崎)

あなたの便り

■民話と伝説、南園市の民話と伝説(第一集)を読みました。とてもおもしろかったです。自分の知っている身近な土地に思いもよらない伝説があつたりしておどろきました。これからは第二集、三集と出してほしいですね。楽しみにしています。(無名)

■利園富次著、民話と伝説は大変好評でした。教育委員会は第二集を発行するように資料を集めていただきます。楽しみにお待ちください。親子クイズの答えハガキにご意見をいただきましたが、「無名」でした。お名前をお知らせください。■行事や催しの日時・広報に南園市で行なわれる行事・催しなどの日時・場所などをのせては。山本俊幸(東崎)

■四月一日号から最後のページの「市民カレンダー」を充実して行事・催しのお知らせをのせたいと思います。また、高知新聞の「町から村から」欄などの商業新聞や有線放送なども利用させていた

意志の弱い

子供の指導

■おたずねします。

■広報一月号、非行を通して、

■私は中学二年の男の子をもつ祖母です。家族は祖母、母、孫の三人です。田畑四反余りの兼業農家です。孫が生まれて五ヵ月目に父を失ったのです。私は父親代りとして努力し、強く正しい人間にしようと頑張ってきましたが何が足りないのか意志薄弱で心配になりました。(頑

張りがない、注意せられても同じことを繰り返す。)

■老れた私に、よくは判りませんが、親子断絶の社会とやら、現在の子供たちは師弟、親子の区別がなく、みんな友達のように考えているのではないのでしょうか。これがまた、社会の自然現象ではないのでしょうか。中学時代は人生の別れ路で一番大切な時だと思えます。私は将来どう考え、どう指導すればよいでしょうか。

■祖母(七十三歳)

■現代の変動が激しい社会情勢の中にあつて、家庭生活も非常に不安定化し、一人のちよつとした態度の変化が、次々と波紋のように広がって家族全体の雰囲気まで変えていくことがあります。性や年代の違う家族員が同居す

だいて市民によくわかるようにしたいと思えます。

■市内の話題も、最近では広報の内容が私共の生活に密接になってまいりましたので、ちゃんと「リーフ」をして参考にしております。「紙」もこれで充分です。市内の色々のものに対してスポットをあててください。楽しみです。

■野村 芳(久枝)

■少ないスポーツ記事・広報を毎回目を通しますが、ほとんどいつてよいほど南園市のスポーツ行事のことがのつていません。市の

小・中・高の学校で、いろいろな行事がもつてられています。中には県下の知れわたった学校・チームもいくつかあります。そこでどうでしょう。これらの行事をこの広報にのせてみたらいかがでしょうか。選手にもよい励みになると思います。

■中田 浩(後免町・15歳)

くみたいものです。■不燃物の収集・チリ袋に入れて指定の場所・期日に出せばもっていつてくれるでしょうか。まだ、一度も出したことがないので、わしくお教えください。

■中山真理子 岡豊町 22歳 主婦

■新しく南園市民になられた方も多いと思えますので、ときどきおせよにしています。最近では二月十五日号にのせましたので、ご覧ください。きれいな町づくりのためにご協力をお願いします。

■家庭や子どもの悩みことなどの相談を無料で受けています。お気軽にご相談ください。家庭児童相談室 市役所二階社会福祉協議会内 電話三二二二一内線三三二 少年補導センター 市役所別館二階 電話三二二二一内線一四五

交通事故は

保険金なので

■おたずねします 市民交通傷害保険に加入している者が、交通事故で傷害を受けたとき、どんな交通事故でも保険金を支払ってくれますか?

■お答えします。

■「親から子へ」という一方通行だけでなく「子から親へ」の回路もなければ十分ではありません。とくに、今日のような情報化社会においては、親たちよりも広い生活空間に任んでいることとなり、その行動も親たちの意識の枠内で理解しきれないことがあるので、新たな行動の意

■味を子どもから絶えず学習しながら、子どもに接触する姿勢がなければならぬと思います。

■田岡 信雄 (公害環境課長)

つくし



元日は何 年賀状をい 何よりの楽 しみます。

■配達された部厚い東を開く時の感激。こんなに沢山の方から新年のお祝いをいただくなんて、何という有難いことでしょう。

■皆さん、それぞれに趣味をこらした立派なもの比べて「今年、うちの虎はどうも人相が悪かったねえ」「上等よ」。主人は無造作に言うけれど、印刷屋を開業している教子から「うちで考案した見返りの虎で、とても縁起がいいですよ」と勧め

年賀状

■もう何年も前からの年賀状を大事にとつてありますが、何年か先で、よばよばになつた頃、読みかえてみたらどんなにかなづかしいことでしょう。

■恩師や先輩からいただく、いつまでもお元気だと、心から「長

■おたずねします 市民交通傷害保険に加入している者が、交通事故で傷害を受けたとき、どんな交通事故でも保険金を支払ってくれますか?

■溝淵 原巳 (補導センター所長)